

論文審査の結果の要旨

氏名 村山 麻衣

気候変動対策の議論は、国際交渉、国政、地方自治、企業等を担う様々なアクターにおいて一般的になされるようになったが、複雑な社会を低炭素社会の指標として二酸化炭素排出量の違いのみで捉えてしまえば、様々な課題を抱えた社会システムの長期的な変革を求めることは困難になると思われる。少子高齢化、過疎化、社会福祉・厚生の上昇等、個別の地域社会に内在する他の課題との関係性を見据えて低炭素社会形成を議論する必要がある。

本研究は、グローバルな気候変動枠組条約における技術移転問題の交渉、およびローカルな日本・地方における公共交通対策という異なるレベルの事例を対象とし、ガバナンスの観点から、低炭素社会の形成に対する障壁を明らかにすることを目的としている。

気候変動問題を社会の包括的な課題として捉え、社会システムの変革という観点から、ガバナンスが求められる背景、およびガバナンスの概念を整理して論じている。俯瞰的視点が必要である複合的な問題領域、および不確実性を有する科学的知識から政策への帰結等の課題の変化が背景にあることを論じ、既往研究におけるガバナンスの概念の分類に加えて、工学的および社会科学的に捉えた社会システム、シナリオとしての社会、および都市計画の分野から考察した場合について論じている。

気候変動枠組条約における国際交渉について、条約以前の気候変動問題に対する国際交渉の場の設定、および条約の交渉議題に関する歴史的経緯等を精査して、条約を生みだした要素、および条約から生み出された構造を明らかにしつつ、交渉を停滞させている構造、および条約全体の交渉に対して技術移転問題の交渉がボトルネックとなる交渉であることを分析している。

気候変動枠組条約における技術移転の交渉議題について、議題内容の歴史的経緯や各国の公式な見解書の分析から途上国と先進国との対立を構造化している。その結果、条約の技術移転交渉において、途上国は新たな条約の枠組みを要求し、先進国は既存の市場メカニズムを重視するという差異を明らかにしている。気候変動対策のためには、優先すべき技術移転分野を特定し、条約の技術移転交渉に政府以外の多様なアクターの見解を取り入れたガバナンスを構築することが重要であると論じている。

日本の環境政策、および気候変動政策に関する歴史的経緯について、緩和策に関する法律、計画書、公式文書、および政策に関する既往研究等から、気候変動に関する国内政策の成立過程、日本の温室効果ガス排出構造、地方公共団体の気候変動対策への取組み等を整理し、気候変動対策に対する公共交通対策の位置づけに着目している。その結果、地域の具体的な将来見通しを立案するために必要な詳細なデータが不足していること、およびグローバルな観点と地域とを繋ぐ将来シナリオを作成しようとする意思決定の手段が不十分であること等の低炭素社会の形成に対する障壁を明らかにしている。

日本における地域公共交通に対する意思決定・実施過程について、三地域における関係アクターへのヒアリング調査から事例分析している。各地域の公共交通に関して複数の将来シナリオを描きつつ、地域形成に著しく影響する要因を抽出すると共に、地方都市間の公共的課題の連携が弱いことが低炭素社会への移行の障壁となっていることを示している。

グローバルな気候変動枠組条約における技術移転問題の交渉、およびローカルな日本・地方における公共交通対策という二つの異なる事例を通観しつつ、グローバル性、総論性、および制度の硬直性の三つの視点とその構成要素を提示して、両者のガバナンスの特性について比較分析している。その結果、両者の異なる要素は、総論に対するボトルネック、アクターの集合性、およびアクターのインセンティブ手段等であることを明らかにしている。さらに、低炭素社会への移行の障壁として、個別・地域におけるグローバル課題に対する利益やリスク分担に関する検討が不足していること、アクター間で目標やシナリオの共有が不十分であること、すなわち、緩和策に関する課題と社会全体の包括的課題に対する取り組みとの関連性が希薄であることと論じている。

本論文は、グローバルな気候変動枠組条約における技術移転問題の交渉、およびローカルな日本・地方における公共交通対策という二つの異なる事例を通観することで、低炭素社会の形成が、緩和策の観点のみでは不十分であること、および地域固有の多種多様な課題への対策ばかりでは成立しないこと等を明らかにしている。国内・地域のアクターによるガバナンス状況と国際レベルでの合意形成のための交渉とを同時に捉えていくことの必要性を示した本研究の成果は、グローバルな公共的課題を担う関係アクターに有益な知見と示唆を与えていると考えられる。

したがって、博士（国際協力学）の学位を授与できると認める。